

実装・パッケージング

電子技販

PWB製作・実装の Webサイトを開設

独自のRRシステムを構築

(株)電子技販(大阪府吹田市豊津町六二八、☎〇六―六三八六―〇四〇一)は、

基板設計から部品調達、基板実装までを請け負う、プリント基板製作・実装のWebサイト「試作ステーション」を開設した。開設日は二〇〇七年八月八日。初年度(〇八年一〇月期)は売上高三〇〇万円、受注件数は月間六件の獲得を指している。

部品調達と基板実装という一連の工程を、最速納期二日(両面板の場合)で対応するWebサイトだ。対象となるプリント基板は片面板、両面板、多層板(四層、六層)、フレキシブル基板、アルミ基板など。基板製作の納期は標準、特急、超特急、マッハの四段階に分けており、片面板の超特急では納期半日を実現する。

いる。その手順は、最初に「希望納期」、「納期のリミット」、「最大予算」を提示し、仕様や資料を添付して発注。納期と金額が合意でき次第、注文請書を発行し、即座に製作を開始する。従来は見積もりから完成まで七十二時間を要していたが、RRシステムを活用すれば、完成まで四八時間に短縮できる。



開設した試作ステーションのWebサイト

Webサイトの特徴として、独自のRR(ダブルアール)システムを構築し、見積もりに要する時間を二四時間省いて

もちろん、「簡易自動見積」という標準システムも用意しており、これは最初に希望納期、基板サイズ、はんだの種類など、一四項目の質問に回答。その後、詳細見積として材質、表面処理、銅箔の厚み、実装枚数などを明記し、送信する

という手順だ。なお、受注ロットは一五枚。
同社は一九七六年一〇月の設立。これまで、電子部品の代理店販売、産業機器のEMS事業などを展開しており、本社二階にはチップ

ブマウンターやリフロー、フロー槽を設置。代理店やEMSで培った部品知識、部品調達のネットワーク、保有するモノづくり技術を生かすため、Webサイトの立ち上げを計画した。

半導体産業新聞 2007年8月15日